

第6回利賀ダム建設事業監理委員会審議結果

1. 日 時：令和元年8月6日(火) 14:00～15:45

2. 場 所：利賀ダム工事事務所 会議室

3. 審議結果：

○利賀ダム建設事業の概要について

- ・利賀ダム建設事業の概要、これまでの事業の進捗状況を報告。
- ・関連市町村人口の推移等を説明し、事業を巡る社会情勢に大きな変化が無いことを説明し、確認して頂いた。

○第5回委員会の審議結果について

- ・第5回委員会の審議結果及び第5回委員会以降の工事現場の安全管理の取り組みを説明し、確認して頂いた。
- ・工事現場の安全管理では、急峻な地形条件であることを踏まえ、監視カメラや目視により現場周辺斜面の安全を十分に確認することが重要との意見を頂いた。

○事業の実施状況等に関する事項について

- ・利賀ダム事業の全体工程により、河床進入路及び利賀トンネル（河床進入）を含む転流工進入路関連工事に今年度から本格着手することを説明。
- ・今後の事業進捗の見通しを説明し、留意事項としてクリティカル工程における複数の施工手順や不測の事態への対処方法を予め検討しておく必要性を説明。
- ・転流工進入路は、利賀ダムの事業全体工程からみてもクリティカル工程となる重要な工事であり、着実に進めるための安全対策や予算の確保が必要である。また、地すべり対策についても、必要なことをしっかり実施することが重要との意見を頂いた。
- ・令和4年度までとなっている利賀ダムの事業工期については、今後の事業工程を確実にしていくために関係者の意見を聞きながら、必要な見直しを行う時期にきていると考えられるとの意見を頂いた。

○コスト縮減に関する事項について

- ・今年度着手工事である利賀トンネル(河床進入)、転流工パイロット道路の設計段階におけるコスト縮減の取り組みとして下記事項を説明
 - 1) トンネル断面形状の工夫による施工機械省略によるコスト縮減
 - 2) 擁壁構造物への新技術採用によるコスト縮減
- ・当面のコスト縮減の取組として厳しい現場条件である河床進入路の早期結合など事業全体の適切なマネジメント及びトンネル掘削ズリのダム本体骨材への効率的転用に努めることを説明。
- ・コスト縮減に関する事項について、以下について意見を頂いた。
 - 1) 引き続き、新技術の活用などにより安全管理とコスト縮減の両立に努めて頂きたい。
 - 2) 施工する構造物の工法選定にあたっては、施工を含む現場条件等を総合的に検討した上で選定することは重要である。

以 上